

松本先生の論文の全てに納得ができ、  
今までの疑問の答えがここにありました。

## 「若年性特発性関節炎経過報告」匿名希望

お母様記述 5歳

2017年4月15日

2015年10月、娘が4歳の時に右手の人差し指の関節が腫れていることに気付きました。痛みがあるか、ぶつけたかなど確認しましたが、なんともないと言うのでそのまま様子を見ました。翌日、両足の指も合わせて5本腫れているのを見て驚き急いで近くの病院へ行きましたが「わかりません」「こういうのは見たことない」「とりあえず様子をみてください」と言われて帰宅しました。どう見ても普通ではない腫れ方だったので次の日かかりつけの医院を受診しました。そして総合病院を紹介されました。

### この頃の症状

- ・右手人差し指の腫れ（痛みなし）
- ・右足親指、人差し指、薬指、左足薬指と小指の腫れ（痛みなし）
- ・左ひざの腫れ
- ・朝、階段を下りるときに膝に痛みがある
- ・転ぶことが多い
- ・走るスピードが遅くなった
- ・目が覚めても布団から出られない

など

2015年10月27日



数日後紹介先の総合病院を受診しましたがその日の血液検査、レントゲンからは何もわからないので検査結果を待つことになりました。そして血液検査の結果、関節炎の数値が高いことから自己免疫疾患、リウマチの一種と説明を受け大学病院を紹介されました。

10月の末に大学病院を受診し、血液検査の結果と関節エコーから若年性特発性関節炎と診断されました。入院して投薬と検査をすること、早い治療で完治の可能性が高いことなどを説明されました。この時にはなんの知識もなく調べる間もなく言われるがまま治療を受けさせてしまいました。ステロイド、免疫抑制剤の投与、各種の検査のたびに不安で親子で涙を流しました。今ではこのような治療を受けたことをとても後悔しています。

2016年5月から生物学的製剤の投与も始まりました。そして10月ごろから息苦しそうなお時があったり、だるそうだったり、車酔いするようになりました。体調を崩すことも多く、顔色も良くありませんでした。薬の副作用だと感じました。

11月の下旬、歩いていても途中で止まり呼吸を整えるようになり少し歩いただけで苦しそうにしていました。そして夜寝る前に呼吸がうまくできず「苦しい」と言って涙を流したので慌てて病院へ向かいましたが、タクシーの中では落ち着き病院へ着いても呼吸ができていて、レントゲンでも肺に異常がないので帰宅しました。肺に問題はないと聞いてもまだ苦しうでしたし、気になったので耳鼻科を受診しました。ファイバースコープで見た結果、喉の奥に溜まっているドロドロしたものが息苦しさの原因だと説明されましたが、ドロドロの原因は説明なしでした。こんなに苦しうなのに原因もわからず対処法もないことに憤りを感じ、数日前から読み進めていた松本医院のことを夫に話し大阪へ行くことを決めました。

化学物質と免疫の関係について調べている時、たまたま松本医院のホームページに辿り着きました。それ以前にも病気の原因や治療法などを検索していましたが、目にしていたのかいなかったのか松本医院のことも松本先生のことも存じませんでした。先生が書いてくださっている「病気の原因は何か」「免疫疾患などない」「免疫を抑制するなどとんでもないこと」など全てに納得ができ、今までの疑問の答えがそこにありました。

不安に感じていたことはやはりその通りだったし、それまでの医師が「原因はわかりません」「問題ありません」などと言っていたことを松本先生は説明されて、間違っていると書かれていました。松本先生に「どうしてホームページに書いてあることが正しいと思った？」と質問された時にはうまく答えられませんでした。が、納得ができたからだと思います。

2016年12月2日松本医院を初めて受診しました。私には心の準備がありました。娘は先生の迫力に驚き号泣。でも先生が「驚かせてごめんな。」と力強い握手をしてくださり「賢いな」と褒めてくださり笑顔が戻りました。初めて受診したその日からお灸の効果があり呼吸が楽になったようで宿泊先で大はしゃぎができるほどになりました。漢方を飲み始めたら朝の顔がすっきりし

ていて2週間もしないうちにとっても元気になって「松本先生のところに行って良かった！」と本人が言ってくれたのはとても嬉しいことでした。漢方の煎じ薬の飲みにくさを克服するため色々試した結果、抹茶の要領で克服しました。ほんの少しの甘いものを口に入れた後にゴクゴク飲むのです。今では何も必要ないくらいですが、ヒリヒリ感を取るために豆などを食べています。

1月の終わりごろ関節の腫れがひいてきました。娘が「薬指の爪が見えるよ！！」と今まで曲がったままだった指が伸びていることに感激していました。同じ頃、肘の内側の湿疹のようなものがとても痒そうになって血も出るようになりましたが塗り薬を塗っていればひどくはならず2月の半ばにはだんだん落ち着きました。

現在は足指の腫れが少し残る程度で関節の痛みはなく、息切れのような状態もめったにありません。時々目の周りが赤くなる日があり、寝ている時に腕が痒そうですが、体調を崩すこともないので松本医院にかかることもありません。松本先生のホームページを拝見するたびに他の病院で治療をしてしまったことを後悔しますが、娘の元気な姿が見られることに加えて不安や恐怖から解放され私達家族も元気になりました。お会いするたび、電話のたびに勇気づけてくださる先生に感謝しております。

2017年4月15日の様子です



これからもよろしくお願いたします